

No. 2990 『バロンズ誌の新春座談会(2) マーク・ファーバーの投資戦略』

足立 真一

先週に引き続いてバロンズ誌の新春座談会を追跡しよう。著名な実践家が海外 2 名を含めて 10 名が朝から夕方まで激論を交わす。われわれの関心事はそこで推奨される具体的な銘柄にある。座談会は 3 週間にわたって掲載されるのをみても、その力の入れ方がわかる。

この座談会のメンバーは毎年、同じなのが大きな特色である。昨年は何かの事情で欠席したマーク・ファーバーも帰ってきた。先週も書いたように、今回の出席者の見方は最近には見られないほど、意見が分かれた。

マーク・ファーバーは「米国株の 10 年間をみると年率+11%の成果あげてきた。決して悪い数字ではないが、それだけに現在の投資家のセンチメントは極端に楽観的で、株価水準は高過ぎる。

まず第 1 に取り上げるのはラッセル 2000(中小型株指数)指数のショートだ。具体的には iShares Russell 2000 (IWM) をショート(空売り)する。ここ数年間、中小型株は上がり過ぎた。

第 2 は 10 年米国債への投資である。米国経済は世間が考えるような順調な回復はしないからだ。自分の資産運用は現金と米国債の比率が大きい。国債には弱気筋が増えているが逆の見方をしている。

次に金に注目したい。金鉱株にインサイダーが継続買いを入れている。金は S&P500 やラッセル 2000 指数に比べてアンダーパフォームしてきた。私の資産のうち 20%は金にしている。金鉱株を個別に買うより Market Vectors Junior Gold Miners (GDXJ) を勧めたい。

アジアではこれから海外からの旅行者が急増する。航空業界が恩恵を受けるが、空輸株は競争の激化でメリットはないが、その周辺の銘柄に注目したい。シンガポールの SATS (SATS/Singapore) は機内食関連、SIA (SIE/Singapore) は航空機整備関連である。利回りが 4%と高い。

アジアの港湾に施設の拠点をもつ Hutchison Port Hldg Trust (HPHT/Singapore) も有望で利回りが 7%である。

香港株に弱気が多いが私は反対に強気だ。ETF の iShares MSCI Hong Kong (EWH) は香港株を幅広く組み入れているが、純資産に比べて 40~50%も割安である。それにヨーロッパの資産家は節税のためにアジアに注目する志向が強まるだろう。中国の成長率が仮に年率 3~4%になってもアジアには魅力がある。

ベトナムに注目している。近隣諸国が成長に向けて離陸を始めたので、周辺国の中心地的な存在になってきた。交通網を整備して自由貿易圏を目指す。個々の銘柄では HaNoi-Duong Beer (HAD/Vietnam), IT 関連の FPT (FPT/Vietnam) に注目している。また Vietnam Dairy Products (VNM/Vietnam) は年率+30%の成長をしてきたが、今後も 20%以上の成長は可能だ。

ショート(空売り)は材料株で Tesla Motors (TSLA)、Netflix (NFLX)、フェイスブック(FB)、ツイッター(TWTR)、Veeva System (VEEV)、3Dsystems (DDD) だ」

マーク・ファーバーは今回も多数の銘柄を並べたが、彼の銘柄数が多い時には好成績を上げてきた。特にベトナム株に強気なのは、彼の生活の半分をバンコクで過ごすだけに、隣国のベトナムからは生の情報がはいるのである。